

# 相続税の申告書

税務署長

年 月 日 提出

相続開始年月日 年 月 日

○フリガナは、必ず記入してください。

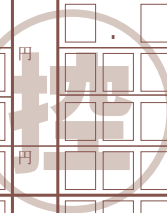
各人の合計		財産を取得した人		参考として 記載する場合
フリガナ (被相続人)				参考
氏名				
個人番号又は法人番号		※控用には個人番号の記入は不要です		
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)		
住所 (電話番号)		〒 ( - - )		
被相続人との続柄	職業			
取得原因		該当する取得原因を○で囲みます。		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与
※整理番号				
課税 価格 の 計算	取得財産の価額 (第11表)	円		円
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1)			
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3)			
	純資産価額(+/-) (赤字のときは0)			
	純資産価額に加算される 暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1)			
課税価格(+) (1,000円未満切捨て)		円		円
各人の 算出 税額 の 計算	法定相続人の数	人		円
	遺産に係る 基礎控除額	円		円
	相続税の総額	円		円
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	1.00		円
各人の 納付 ・ 還 付 税額 の 計算	農地等納税 の適用を受ける場合	円		円
	相続税額の2割加算が 行われる場合の加算金額 (第4表)	円		円
	暦年課税分の 贈与税額控除額 (第4表の2)	円		円
	配偶者の税額軽減額 (第5表又は)	円		円
	未成年者控除額 (第6表1、又は)	円		円
	障害者控除額 (第6表2、又は)	円		円
	相次相続控除額 (第7表又は)	円		円
外国税額控除額 (第8表1)	円		円	
計	円		円	
差引税額 (⑨+⑪-⑬)又は(⑩+⑪-⑬) (赤字のときは0)	円		円	
相続時精算課税分の 贈与税額控除額 (第11の2表1)	円		円	
医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	円		円	
小計(-) (黒字のときは100円未満切捨て)	円		円	
納税猶予税額 (第8の8表)	円		円	
申告 納税額 (-)	円		円	
申告期限までに 納付すべき税額	円		円	
還付される税額	円		円	

第1表(平成31年1月分以降用)

注 欄の金額が赤字となる場合は、欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、欄の金額のうち贈与税の外国税額控除額(第11の2表1)があるときは、欄の金額については「相続税の申告のしかた」を参照してください。

←この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合)は、を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません)。

税務署受付印



作成税理士の事務所所在地・署名・電話番号

- 税理士法第30条の書面提出有
- 税理士法第33条の2の書面提出有